

神奈川県立横須賀工業高等学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	第2回 横須賀工業学校運営協議会
開催日時	平成30年9月28日 14:00～17:00
開催場所	校長室
(役職名) 出席者	<p>会長 海浦 洋子（横須賀工業高等学校長）</p> <p>安斉 講一（秋桜会（本校同窓会）会長 足柄ふれあいの村所長）</p> <p>奥田 誠一（PTA会長）</p> <p>瀧澤 清（神奈川県異業種連携協議会理事 航空宇宙コンソーシアム まんでんプロジェクト会長）</p> <p>那須 宗夫（岩崎学園 情報科学専門学校 教務部教務課長）</p> <p>渡邊 久美子（衣笠行政センター館長）</p>
次回開催予定日	平成30年11月3日
問い合わせ先	<p>横須賀工業高等学校副校長 金井 一夫</p> <p>電話番号 046-851-2122</p> <p>ファックス番号 046-851-5643</p>
下欄に掲載するもの	議事録
審議(会議)経過	<p>(校長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二学期が始まり、生徒は落ち着いた雰囲気です授業に取り組んでいる。 ・10月3週より、2年生対象のインターンシップが開始される。それに向けた準備を進めている。 ・11月3、4日に県須工祭が開催される。当日の内容を見学していただき、第3回を迎えたい。 ・新たな取り組みとして、教育環境改善に着手。学校からの要望を実現するためにこの協議会を活用していきたい。 ・本年を通し、地域防災をテーマに掲げている。万が一災害が発生した場合には、工業高校としてのスキルを活かすことができれば良いと考えている。また、その一環として、12月21日に横須賀市文化会館で東日本大震災についての講演を予定。お時間があればぜひご参加いただきたい。 ・懸念点としては、オートバイによる交通事故の多発が挙げられる。発生件数は県内でも上位。何とかして改善していきたい。 <p><校内見学感想></p> <p>滝澤委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒は楽しそうかつまじめに取り組んでいた、モノ作りに興味を

持つことは今後のスキルとして非常に重要。

頭も体も動かすことで、非常に効果が高い。ロボット系統がさらに強化できるとより良い。

- ・ロボット研究を専攻している大学生にあったが、技術的に言えば本校の生徒のほうがはるかに上。実践的なスキルを教えることができている。生徒たちも一生懸命にやっている。
- ・化学科のやわらかい石鹸づくりに関しては、感覚的なものだけではなく、数値化して示したほうが効果が上がるのではないか。

那須委員

- ・何かを形にすることは非常に重要。しかし、完成まで長い時間を要するものについては、途中でたるんでしまったり、一生懸命にやる生徒とそうでない生徒に分かれてしまうケースが多い。解決案として、定期的に中間報告を設けるとよい。

奥田委員

- ・昨年よりも生徒たちは真面目に取り組んでいる印象を受けた。就職だけではなく、進学率も向上してきたことも喜ばしい。

渡邊委員

- ・一生懸命に取り組んでいる生徒とそうでない生徒の差が見えた。役割分担を徹底し、手持ち無沙汰の生徒が出ないようにすることが重要。なお、生徒たちが自発的に分担や活動を行えばベスト。
- ・見学のために教室に入ると、黙り込んでしまうような生徒が多い。もっと物怖じせず、堂々とした生徒が増えてほしい。

安斉委員

- ・社会に出た際、他者と協力する姿勢は必要不可欠。専門的な技術はもちろんだが、もっと生徒同士が切磋琢磨しあう環境が望ましい。

(副校長より)

○教育環境改善について

教員からの要望、地域からの要望、クレーム等を鑑み、以下の5つについて改善したい。私費では対応できないため、この会議から県に要望していきたい。

①エアコンの設置

生徒の使用頻度が多いにもかかわらず、温度調節ができないため、授業に支障が出ている。(理科室、視聴覚室等)

②グランドネットの増設、補修

野球部のファールボールが校外に出るケースが多々ある。建造物の破損や対人被害も想定できる。

③スプリンクラー設備の改修

現状、全く機能しない。砂埃による地域からのクレームも多い。

④ドラフターの交換

製図に使用するものだが古く、必修科目であるにも関わらず使用できない。部品等も廃盤になっているので新規で交換したい。

⑤給湯設備の設置

全校の職員室にあるべきものだが導入されていない。ガスは配線の関係で難しいため、電気のものがよい。

<質疑応答>

奥田委員

Q. 全体の優先順位はどうなっているか。

A. ②→③→④→①→⑤の順。地域のクレームが発生しているものから優先すべきであると考えているため。

安斉委員

Q. ①について、今年の猛暑による県の対応の対象とはなっていないのか。

A. なっていない。エアコンの設置は完了しているとの回答だった。

Q. ②、③について、発生件数はどれくらいか。潜在化している件数も調査して報告したところ、早急に対応されたケースがある。実際に発生した状況や件数、日時、対応等を具体的に報告することが必要である。

A. 認知件数は昨年3回、一昨年2回ほど。未認知のものについては調査していきたい。

【中間報告】

(カリキュラム開発グループ/佐藤)

- ・組織的な授業改善に取り組んでいる。外部から講師を招き、工業高校ならではの授業展開を計画している。また、インターンシップ先の企業や自治会等を対象にアンケートを行い改善に役立てたい。
- ・過去、説明会時にGTRを中庭に展示したところ、食いつきが非常に良かった。完成形や本物を見せることは非常に重要。今後も実施を検討したい。
- ・補習の実施にも力を入れた。成績不良者対象だけではなく、資格獲得やよりスキルを伸ばしたいなど、学習意欲の高い生徒を対象に行う補習が増加傾向にある。

(企画研究グループ/小室)

- ・年度末に関東電気保安協会の方を招き、1学年対象の出前授業を実施する予定。

- ・学校説明・見学会では、近隣の中学が体育祭等の行事とブッキングし、参加できなかった。日時等を再調整する必要がある。
- ・試験期間を利用し、京急で乗り換えなしで本校に通うことができる横浜市のエリアの中学校6校に訪問予定。今後もより多くの中学校と接点を作っていきたい。

(生活指導支援グループ/福山)

- ・衣替え期間の中間着等、様々な案件に対しての基準の明確化を図り、生徒たちに浸透させている。
- ・2学期に入り、当会議時点までの指導対象行為は0件。これからも未然防止に努めたい。
- ・携帯電話の取り扱いについて、現状は特に規制は設けず、担任、副担任、教科担当で指導に当たっているが、あまり改善が見られない。具体的な対策について検討する必要性を感じている。
- ・校長の話にもあったとおり、交通事故の発生件数が非常に多い。どうにかして減少させたい。

(生徒活動支援グループ/高橋)

- ・今年度は教育相談に重点を置いている。スクールカウンセラーによるカウンセリングの件数は増加しており、スクールソーシャルワーカー、ケース会議等の件数も前年度を超える見込み。潜在化しているニーズの発掘も含め、このまま継続して増加させていきたい。

(学校管理運営グループ/平岡)

- ・今年度は防災に重点を置いている。今年度から美化委員を活用し、新たに喫食訓練、街歩きマップの作製、美化防災タイムの実施などの試みを行ってきた。また、今後大和東高校の防災訓練への参加や被災地の視察を行い、文化祭においてその成果を発表する予定。
- ・先ほど校長からもあったように12月21日には横須賀市文化会館で、全校対象（地域の方も参加可能）で実際に被災された方の講演会を開催する。

(進路支援グループ/多田)

- ・2学期の頭に1、2年対象の基礎力診断テストを行い、ほぼすべての生徒が受験した。
- ・就職関連では、求人企業の飛躍的な増加に起因し、グループが回っていない状態。具体的に言えば求人票の受け取りに忙しく、生徒と綿密な相談の場が設けられていない。スケジュールの再調整が必要。
- ・進学関連では、進路グループを通さず、担任、保護者、本人で完結している場合もあり、全員分は集約できていない。一般的には

	<p>指定校推薦やAO入試はここからピークに差し掛かる。進学希望の生徒も増加してきているので、様子を見つつ、臨機応変に対応していきたい。</p> <p>(工業推進グループ/斎藤)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得のサポートとして、フォークリフト運転技能講習、高所作業車等の特別教育講習の充実を図っている。国家資格等の取得は独学では難しいため、補習等も積極的に開講している。 ・10月の3週から1週間、2学年全員対象のインターンシップを開催。社会へ出る事前準備や将来を見据えた学びを得るための貴重な体験であると認識している。終了後はいくつかの事業所をピックアップして発表会を開催する。それにあたり、情報科学専門学校より講師を派遣していただきプレゼンテーションの講習を行っていただく。 ・3科の1学年対象に、情報科学専門学校から出前授業を依頼している。
<p>会 議 資 料</p>	<p>中間報告資料等</p>